

討議テーマ2：部会活動に向けたテーマや進め方

会議当日のグループ討議の検討内容を文字に起こしてまとめたものです。
部会テーマや取組内容等については今後の運営会議等で決定していきます。

(部会テーマ)

若者や若い夫婦が住みやすく、仕事ができる環境を考える部会

ねらい・大切にしたいこと

- ・若者や若い夫婦が住みやすく、仕事ができる環境をつくる。
(子育てができる広さの家に住める住宅価格や家賃の維持、起業のチャンスをつくれる安い店舗賃料の維持など)
- ・子どもを育てやすい環境には防犯や防災も重要で、防犯・防災のためにはコミュニティづくりが大切になる。
- ・今ある商店街を維持する。
- ・オープンなまちを維持したい。外国人の方や若いオーナーが街に入り込みやすい環境をつくる。既存住民とのすれ違いが生じて離れてしまうことがないように、新規住民と既存住民とのコミュニケーションを取る場をつくるのが大切だ。
- ・与えられる街、高円寺であってほしい。道路整備によって小さい店舗が無くなり、ビルばかりになってしまう整備はしてほしくない。
- ・防災に特化し道路整備をすると家賃が上がって住みにくくなるが、人を呼び込むには現状の密集状態も危険で無視できない。不便だから、危ないからこそ助け合って生まれる人との関わりもあるので、道路整備で街が整いすぎると消えてしまう人との関わりもあるのではないかな。何かを行うと何かは犠牲になるが、どのようにそのバランスを図るか。

今年度から取り組みたいこと

- ・高級化が及ぼす街への影響や、家賃の推移、高円寺在住者の収入の推移、物価の推移等について調査する。
- ・住み易さ、住み難さについてアンケート調査をする。
- ・高架下の開発についてJRから話を聞く。(高架下の店舗を安く賃貸できないか)
- ・どうすれば家賃を維持できるか考える。(高円寺の文化を守るためにまちの高級化をさせない方策)
- ・高円寺には多数の空き家があるが、区外の人から空き家の有無を把握する仕組みがないし、空き家であっても賃貸に出されるとも限らない。空き家の持ち主と空き家を探している人を結びつける仕組みを作る。
- ・若者が起業する際の最初の一步を後押しできる様に安く借りられる場所を確保し、安く賃貸できる小規模の店を紹介するサービスを提供する。
- ・少子化が進み人口減少が進めば、住宅は余るようになるのではと思うので、少子化の問題を考えないと駄目なのではないか。
- ・杉並区を横断するように善福寺川沿いにコミュニティをつくる。
- ・道路整備以外の防火対策を進めるために、木造密集市街地での防災対策(修復型まちづくり)について参考例などを学習する。
- ・道路整備にからめてコミュニティ施設を確保するための行政手続きの研究をする。

実施に向けた課題・心配なこと

- ・空き家情報の共有には個人情報絡むため、行政との連携が必須になる。
- ・仕事をしながら子育て中で、自分が地域の活動や取組に貢献する時間や手立てがない。同世代の人を見ても同様に、地域づくりの担い手の増やし方やコミュニティのつくり方が分からない。
- ・家賃を下げられる手立てがわからない。
- ・どの様に若い人達にリーチできるかが難しい。

(部会テーマ)

部会 2 2 1 (住民主体の検証結果に基づいて補助221号拡幅の必要性を勉強・議論する趣旨の部会)

ねらい・大切にしたいこと

- ・道路拡幅の是非について話し合いたい、検証したい。
- ・歩行者と自転車利用者と車の三者のバランスを考えて、歩行者や自転車利用者にとっても安心して快適に使える道路に整備する。
- ・中野では商業施設が立ち並び、にぎやかになることを踏まえ、多様な世代の人たちが高円寺と中野を行き来する活気ある道路にするために、歩行者や自転車利用者にも使いやすい道路に整備する。
- ・補助221号線エリアは、高円寺と中野の区域の変わり目で、中央線の高架も地面と同じ高さまで下がってきて、景観がガラッと変わる。だからこそ、中野区と一体となって街づくりに取り組む必要がある。
- ・中野と高円寺という異なる色のまちがつながるせっきくの機会なので、回遊性が向上する道に整備する。

今年度から取り組みたいこと

- ・地権者全員に、住宅街か、商店街がいいのかについてヒアリングを行う。
- ・車両による事故を減らすために交通のシュミレーションをする。
- ・道路空間の道自体での活用を考える（イベントの開催）。
- ・歩行者や自転車が使えらる道幅のバランスや具体的なしつらえなど、道の作り方を検討する。
- ・交通安全のため、交通ルールを守る工夫を検討する。

実施に向けた課題・心配なこと

(部会テーマ)

多世代交流を活性化し、未来のまちの担い手を醸成する 高円寺全体デザイン部会

ねらい・大切にしたいこと

- ・ 魅力あふれる街並みや、人々の活気に軸を置いて、多世代で盛り上がるにぎやかな街にする。
- ・ いろいろな世代といつでも気軽に交流できるようなまちにする。
- ・ まちづくりへの若者の参加を増やす。

今年度から取り組みたいこと

- ・ まちの方向性に関するアンケート調査
(商店街を目指すのか住宅街を目指すのかなどについて住民の意見を聞く)
- ・ 町会メンバーの参加や若者の参加を促す取組の検討 (町会との連携・調整)
- ・ 高円寺は様々な年代の人たちが住む街なので、それを強化する3世代交流の促進
- ・ まちの歴史を知るための勉強会 (今のまちの良さを歴史から知る)

実施に向けた課題・心配なこと

- ・ 町会は掃除などのイベント等を運営しているが、町会メンバーはたくさんいるのに、町会からの参加者はとても少ないので、町会メンバーがもっと能動的に参加するような仕組みが必要だ。

住みやすいまちづくりをするためにあなたもデザインして

ねらい・大切にしたいこと

- ・ユニバーサルデザインやアンブレラフリー（傘がなくても雨に濡れないで移動できること）を考慮した空間づくりをする。
- ・人工的な街、風景ではなく、人間らしさ、高円寺らしさを守る、文化を大事にする。
- ・大型商業施設ではなく、商店街と個人商店を大切に。

今年度から取り組みたいこと

- ・木を植え、休み処をつくる：日陰がないので夏の歩行が暑い。
- ・道のあり方を考える：古い建物や細い路地をなくさず実現する防災（ヨーロッパの消防小型化やパイプスタンド型消防器具、ポケットパークなど）
- ・コミュニティがなぜ重要なのかの理解促進：コミュニティ（地域共同体）づくりそのもの
- ・防犯カメラの設置：学校との連携が必要
- ・町会など既存コミュニティ以外での発信、SNSでの発信：若者への発信が必要
- ・こうした閉じた場ではなく、もっとオープンな場でこういう会議を月1回ぐらいやる：子どもや若者の声をきく。

実施に向けた課題・心配なこと

- ・電柱が地中化になるとよい。
- ・コミュニティ存続、活気、再開発、防災は1セットの問題で考えなければならない。

(部会テーマ)

知ろう！始めよう！心地よいまちを目指して

ねらい・大切にしたいこと

- ・緑道や緑地を通ることによって心身ともに健康になるため、みどりをできる限り増やしたい。
- ・拡幅によって車の交通量が増加して、交通事故のリスクが増大しない様に現状を維持し、安全な道を確保したい。
- ・区内外に向けて杉並を良いところや伸ばしていきたいところを発信できるまちにしたい。
- ・現役世代、施設入居者も含む高齢者、障がい者などのありとあらゆる属性の住民を巻き込んだ場にする。

今年度から取り組みたいこと

①まち歩きをする。

- ・まずはまちを知り課題を見つけることを目的にしてテーマを設定しない。
- ・凸凹した危険な道路箇所を共有し、危険のない道を構築することを考える。
- ・車椅子でウォーキングをして、直した方が良い道を見つける。

②道路里親制度で管理している場所は良いが、管理外になるとごみや伐採の木々が放置されているので、この2つをきれいな道としてつなげていくためにはどうするか考えたい。

③日常で交流ができる機会をもっと作っていけるよう何か支援できる仕組みを考えたい (例：ラジオ体操やバードウォッチングの開催)

④マップづくりや調査を行う。

- ・道のポケットパーク所有度ランク付・道の『通り抜け難易度』調査
- ・日陰、陽あたりマップ ・袋小路と路地の分布マップ

実施に向けた課題・心配なこと

(部会テーマ)

中野の開発の圧に負けない、共存するための高円寺北一丁目をケーススタディに

ねらい・大切にしたいこと

- ・高円寺の良さを残す（例：個人商店、低層建物、歩ける）。
- ・防災の視点から現状を把握する。
- ・長期的な視点から、人の次世代が入れ替わることも前提にする。

今年度から取り組みたいこと

- ①まち歩きをしてみる（防災、歴史・文化）。
- ②広報（若い人にも来てもらうような工夫）と子どもの居場所やサードプレイスをまずはつくってみる（そこで意見を聞く）。
- ③高円寺北一丁目版（気候）市民会議をやってみて、どういうまちにしたいかを話し合う（補助221号線の賛否ではなく）。
- ④近傍の明治大学や帝京平成大学と協働で調査

実施に向けた課題・心配なこと

- ・良い街にするために、資源と手段を整理する。手段（道路づくり）を目的にしない。

(部会テーマ)

小さなコミュニティがたくさんある高円寺の魅力を大切に

ねらい・大切にしたいこと

- ・お金がなくても高円寺なら生きていけることが大切だ。
- ・子どもや障害者も参加し、いろいろな人との意見交換を重視する。
- ・防災の視点も必要だ。

今年度から取り組みたいこと

- ・デザイン会議には時間帯が合わず多くの人に参加しにくいので、選挙ボードのようなアナログの掲示板を立てて、いろんな人が自由に発言できる場、交流できる場をつくる。手紙のように出された意見をみんなで拾い、返信することも大切にしたい。北口／南口に立てて、壁新聞も貼るとよい。

実施に向けた課題・心配なこと